

待機児童対策について

1 保育需要と待機児童の現状と今後の見込み

- (1) 社会情勢の変化や幼児教育・保育の無償化等の様々な要因が重なり、本町の保育需要率は島本町保育基盤整備加速化方針（以下「加速化方針」という。）策定時の想定を大きく上回っている。
- (2) 加速化方針策定時に想定されていなかった複数の大型集合住宅の建設が新たに進められており、現在、就学前児童人口が増加中である。
- (3) 加速化方針策定時には、JR島本駅西地区開発想定を含んだ、令和10年度の最大保育需要は1,070人と想定していたことから、方針策定時には、認可定員644人を1,020人まで拡大することとしており、実態として、現在、1,043人まで拡大した。更には、令和7年10月に新たに19人定員の小規模保育事業所を開所するとともに、私立山崎幼稚園の認定こども園化を進め、令和8年4月には、総定員1,142人となる見込みである。
- (4) 令和7年12月の入所児童数は、1,136人であり、認可定員を超えている。
- (5) 弾力的運用を行うなど、事業者との連携の下、現有施設を最大限活用するよう調整しているが、受け入れ可能枠を超える利用申込がなされており、令和7年度は8月から待機児童が発生している。

【参考：保育需要率】

△	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1~5歳児	50.6%	50.0%	53.2%	59.1%	64.6%	67.5%	68.7%

※ 各年度当初の保育所等申込数（入所者数+待機数+保留数）／就学前人口

※ 0歳児は年度当初の保育需要率が低い傾向にあるためこれを除外して記載

【参考：1次受付期間中における年度当初申込者数】

△	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
人数	298人	261人	212人	226人	167人	183人	244人	356人

【参考：入所児童数】

△	R1.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4	R7.12
人数	671人	706人	849人	936人	943人	973人	1,040人	1,136人

2 保育環境の拡充

- (1) 第一幼稚園の運営方針の変更

第一幼稚園利用者の利便性の向上及び保育需要の受け皿となるよう開園時間や給食の提供等、町立保育所に近い教育・保育環境となるよう、令和8年4月から運営方針を改める。

【参考：第一幼稚園入園児数】

△	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
人数	156人	115人	84人	56人	36人	34人	34人	80人

※ 各年度当初の入園児数（令和8年度は1次受付終了時点の人数）

【参考：令和8年度第一幼稚園入園見込者数】

△	3歳児		4歳児		5歳児			合計			
	種別	定員	入園見込数	定員	入園見込数	定員	入園見込数	（うち、現在在籍数）	定員	入園見込数	（うち、現在在籍数）
通常保育型	17人	12人	17人	13人	17人	17人	17人	17人	51人	42人	17人
就労支援型	18人	18人	18人	6人	18人	14人	9人	54人	38人	9人	
合計	35人	30人	35人	19人	35人	31人	26人	105人	80人	26人	

- (2) 私立山崎幼稚園の認定こども園化

令和8年4月から山崎幼稚園が幼稚園型認定こども園に移行予定であり、移行が認定された場合、1~5歳児で保育を必要とする児童の保育が開始される予定となっている。

【参考：認定こども園移行後の山崎幼稚園の年齢別定員（予定）】

△	区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
		教育	—	—	—	100人	100人	
		保育	0人	8人	12人	20人	20人	
人数	計	0人	8人	12人	120人	120人	120人	380人

- (3) しまもと里山認定こども園の園舎増設

現在、敷地内に園舎の増築工事が進められており、令和8年9月頃から供用開始見込みとなっている。

増築工事の完了後、児童の受入数も増加見込みであり、令和9年度には保育部分の定員を現行の168人から195人に増員予定である。

- (4) 保育基盤整備状況

加速化方針による施設整備を含めた保育基盤（保育の認可定員数）の推移は次のとおりとなっている。

【参考：町内保育所等の認可定員の推移】

△	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
人数	644人	785人	893人	1,043人	1,043人	1,043人	1,043人	1,142人

※ 人数に第一幼稚園における保育需要対応（就労支援型54人）分の受け皿分を含まない